

(別紙3)

村上市パブリックコメント手続を行う案件に対する意見の結果

提出された意見の概要及びそれに対する市の考え方について、次のとおり公表します。

【提出された意見の集計結果】

案件の名称	村上市地酒等による乾杯を推進し村上の食文化を振興する条例（案）	
意見提出期間	平成29年 2月15日 ～ 平成29年 2月28日 （14日間）	
意見の提出者数	5 人	
意見の提出件数	8 件	
意見の受付状況	持参	人
	郵送	人
	ファクシミリ	1人
	電子メール	4人

【意見の概要とそれに対する市の考え方】

No	意見の概要	意見に対する市議会の考え方
1	<p>地酒等による乾杯の習慣が、村上の食文化の振興と具体的にはどのように反映するのでしょうか。強いて言えば地酒等で乾杯しなければ村上の食文化は振興しないのでしょうか。また、この条例の実効性をどのように考えているのでしょうか。</p>	<p>地酒等による乾杯を推進することをきっかけとして、その原材料だけでなく、それに関わる農林水産物、郷土料理、物産等の市内での生産、加工、販売などが促進され、市の地域経済の発展に寄与することが期待されます。また、同時に食についても村上の食文化として振興することにより産業振興や観光振興に寄与するだけでなく、特色ある食文化の伝統として継承することや発展させていくことにつながるものと考えます。</p> <p>したがって、市は多くの事業を総合的に関連付けて実施していくものと期待します。</p>
2	<p>努力義務を謳った「理念条例」とした理由はなぜでしょうか。宣言や運動でも市民・行政が一体となって取り組めるものであり、今、あえて条例にする必要性はないと考えます。</p> <p>この条例で市民等への努力義務を謳っている反面、条例実施に当たり嗜好等の配慮を規定していることにより、実効性の無い骨抜き条例となっているのではないですか。</p> <p>このような振興の条例化をしなければ、地元の産物の消費を、しないような市民性をこれまで形成してきた住民自治への生涯学習や社会教育の在り方と、地元の産物・産業に係る事業者間の協働や共存への努力不足が、検討されることもなく、他の自治体の真似のような受け身の取り組みには、賛成できません。</p> <p>地元の産業活性化に貢献したいという事と、自らも適した利益を得たいという欲求の充足は、自治体の市民の自覚が、どれだけあるのか、という市民性とでもいうべき問題だと考えます。</p> <p>今更、殊更に、市の役割とか、議員の役割とかいうレベルで唱えることに、当時者達の見識に疑問を持ちます。市民として地元のことを考慮している日常ならば、自ずと地産地消を心掛けたりする</p>	<p>この条例では、取組をより実効的なものにするため、市・議員・事業者の役割を明確にするとともに、市民に対しても協力を求めることなどを規定した条例として制定することとしました。</p> <p>いただいたご意見のとおり、市民・行政・事業者が一体となった取組が行われるべく制定するものであり、また、同じく、ご意見の中の住民自治への生涯学習や社会教育の在り方、地元の産業活性化に貢献したいという市民性の醸成などについては、今後の事業計画や事業展開に生かすべく、貴重なご意見として参考とさせていただきます。</p>

No	意見の概要	意見に対する市議会の考え方
	<p>という事は、ルール化されずとも、主体的に実践されてくることだったのではないですか。</p> <p>自治の力を強化するため、真の地方創生のために、地元の物産を用いていこうという態度は、倫理的な問題だと考えます。ということで、条例で規定する事柄では無いと考えます。</p> <p>偏りのない選び方で依頼した法律の専門家の、意見をもらう必要があるのではと考えます。あえて条例化して、ルール化する事には賛成できません。</p>	
	<p>地元の産物を積極的に消費しようというキャンペーンはしてもよいでしょうが、条例化で制御的な気運を助長する事には賛成できません。反対です。地元の産物に自信を持っているならば、条例などにせずとも、価格の許す範囲内なら活用する、そういう態度と行動は、必然的にもつのではないかと考えます。失礼ながら、議員や市職員の方々が、この条例を基に、対外的な交流事業等公務の上で地元の高級な飲食物を公然と取れるという事で、賛成するなどという事が起きないかと、市税の監視役の住民の立場からは、猜疑的に捉えることもできますので。倫理的にも十分な御検討が必要でしょう。良識ある市政の担い手であってほしいですから。</p>	
	<p>地元食材や飲料等は、人口規模も小さい自治体等の地域内では、なかなか規模の経済が作用しないのが実情でしょう。どうしても高価になりがち、その消費を促すこと、消費増は必要ですが、あくまでも企業努力でしょう。</p> <p>もしも、議員や市職員も含む市民に役割があるとしたら、それは地元の産物の消費による納税、という間接的な作用へ、関心を高めることが、まずもって必要な施策になるのではないかと考えます。そして、納税者への恣意的ではない、市民性形成の社会教育の継続ではないでしょうか。</p>	

No	意見の概要	意見に対する市議会の考え方
3	<p>消費者の選択の自由（価値表現の自由でもある）を阻害する恐れが、多分にある条例には、賛成できません。第7条に「嗜好への配慮」が掲げられていますが、これまでの村上地域周辺の住民の消費や、参政に関する傾向を実感しているうえでは、決して主体的に乾杯に参画するとは考えられません。条例だから渋々という心理が潜在し、不平不満が出る事でしょう。</p> <p>そもそも、乾杯をするような機会となると、ほぼ複数の人が参加する場であり、そうした場面では、この地域の個々人の多くは、『受動的に強要されて乾杯や消費をさせられている』という感情を抱きながら、『個々の選択に当たる経済事情や嗜好を抑制しつつ参加する』という事になりかねないと考えます。</p> <p>どのような消費行動をとるかは、あくまでも他者へ危害を加えるような事であれば、個々の自由意志です。地産地消は望ましいことですが、そのような価値や行動の変容を、条例化して制限することは、憲法にも抵触するのでは・・・と気になり、以前から好ましくないと考えています。</p> <p>喫煙のように健康被害等の社会的影響が、国際レベルで指摘されていることを条例で抑制するのは、別次元の問題です。</p>	<p>本来、お酒を飲むか飲まないか、何を飲むかは個人の自由でありますし、また、飲酒が原因で様々な問題が発生していることも事実であるため、この条例では、地酒等による乾杯を推進するだけでなく、嗜好への配慮として、個人の嗜好や意思を尊重し、飲酒の強要などが無いよう、また、個人の嗜好にあわせて楽しく乾杯が行われるよう呼びかけるものであります。</p>
4	<p>乾杯条例の最後に付け足しのように書いてある食品廃棄物の削減について、食品ロスを減らす運動「30・10運動」こそ乾杯条例より再優先すべき社会的課題ではないでしょうか。</p>	<p>食品廃棄物の削減については、すでに関係省庁・先進自治体でも取組が進められているところですが、村上の食文化を振興するという食に関する取組を推進することにおいて、食品廃棄物の削減は表裏一体のものとして取り組むべきと考え、積極的かつ実効的な取組がなされるよう、条例に規定したものです。</p>
5	<p>市の役割としては具体的にはどのような取り組みを考えているのですか。</p>	<p>（市の役割）で、村上の食文化の振興に関し必要な措置を講ずるとは、市内で生産、加工又は調理された地酒等及び農林水産物、郷土料理、物産等を本市の地域資源ととらえ、これを生かした食文化を「村上の食文化」としてはっきりと位置付け、その理解、普及、浸透を図ることが同時に本市の</p>

No	意見の概要	意見に対する市議会の考え方
		<p>関連産業の振興につながるのみならず、日本食の中での特色ある村上の食文化を継続し、発展させていくことへの誇りにつながることが期待されることから、幅広く、さまざまな場面をとらえて取組が進められると思いますが、具体的な行動計画については、今後、関係各課で作成され実行されていくこととっております。</p>
6	<p>乾杯条例検討条例プロジェクトチーム及び他の議員さん、この度は、素晴らしい、乾杯条例案を作成していただき、市民の一人として感謝申し上げます。個人の嗜好にも配慮されております。私も酒は大好きでございますので、本市の地域経済の発展に多少なりとも、寄与したく考えております。ぜひ本会議で成立させてください。</p>	<p>いただいたご意見を受け止め、早期の条例化と施行を目指します。</p>
7	<p>私は、日本酒での乾杯は個人的に行っているもので、この条例案には大賛成である。 しかも、この条例案は、日本酒を強要しないのもゆるくてよい。 当地区の2つの酒蔵の作る商品はとても美味しいので、他県にお土産として持って行くと大変、喜ばれる。これをピーアールの目玉にしない手はないのではないかと。むしろ、村上市は合併前から施行していてもおかしくなかったのではなかろうか。 とにかく、地域の特産品をアピールするためには、コストもかからなそうだし、商品は間違いないのだから、なるべく早く可決させるべきである。</p>	<p>いただいたご意見を受け止め、早期の条例化と施行を目指します。</p>
8	<p>乾杯条例はとてもいいことだと思います。 私は和牛繁殖農家ですが、例えば会合で村上牛を食べる機会があったとき「これは村上牛のすき焼きによく合うお酒です。」と言われて出されれば、お酒が少し苦手な私でも飲んでみようと思うかもしれません。そんなお酒で乾杯したら話題が増えて楽しい時間を過ごすことができると思います。料理、季節、人、に合わせて少量多品種のお酒を生産するのは難しいと思いますが、幾つかの</p>	<p>その料理に合った、お酒や飲み物の用意や提供、そして、その案内や簡単な説明などについては、乾杯条例検討プロジェクトチームで行われた関係団体・事業者・機関等との意見交換会の時にも、ご提案がありました。 また、新しい飲み方の提案など、ぜひ、そのような取組も事業展開の一つとして実現され、結果として、「市民生活の豊かさ」や「観光客の喜び」につながるよう、貴重なご意見として参考とさせ</p>

No	意見の概要	意見に対する市議会の考え方
	<p>お酒をブレンドしたり、お茶や山ブドウなどそこにしか無いものを加えたりして、飲み物を作りそれで乾杯する。</p> <p>きっと市民生活は豊かになり、観光で訪れる方々にも喜んでもらえると思います。</p>	<p>ていただきます。</p>